

UCS CentralからUCSMドメインへのKVMロールアクセスの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[コンフィギュレーション](#)

[1. UCS Centralのロール](#)

[手順1.1 UCS Centralユーザ管理者ロールの作成](#)

[手順1.2 ローカルユーザの設定](#)

[2. UCSドメインロール](#)

[手順2.1 UCSMドメインでロールを作成します。](#)

[3. UCSMドメインへのKVMアクセスの検証](#)

[ステップ3.1 UCS CentralからのKVMの起動](#)

[\[LDAP Authentication\]](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、UCS Centralから起動されるUCSドメインへのKVMアクセスを許可するためにUCS CentralとUCSMでロールを設定する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- ユニファイドコンピューティングシステム(UCS)
- UCSセントラル

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- UCS-FI-6248UP、ファームウェア4.0(1c)
- UCS Central、ファームウェア2.0(1p)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド

キュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始していません。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

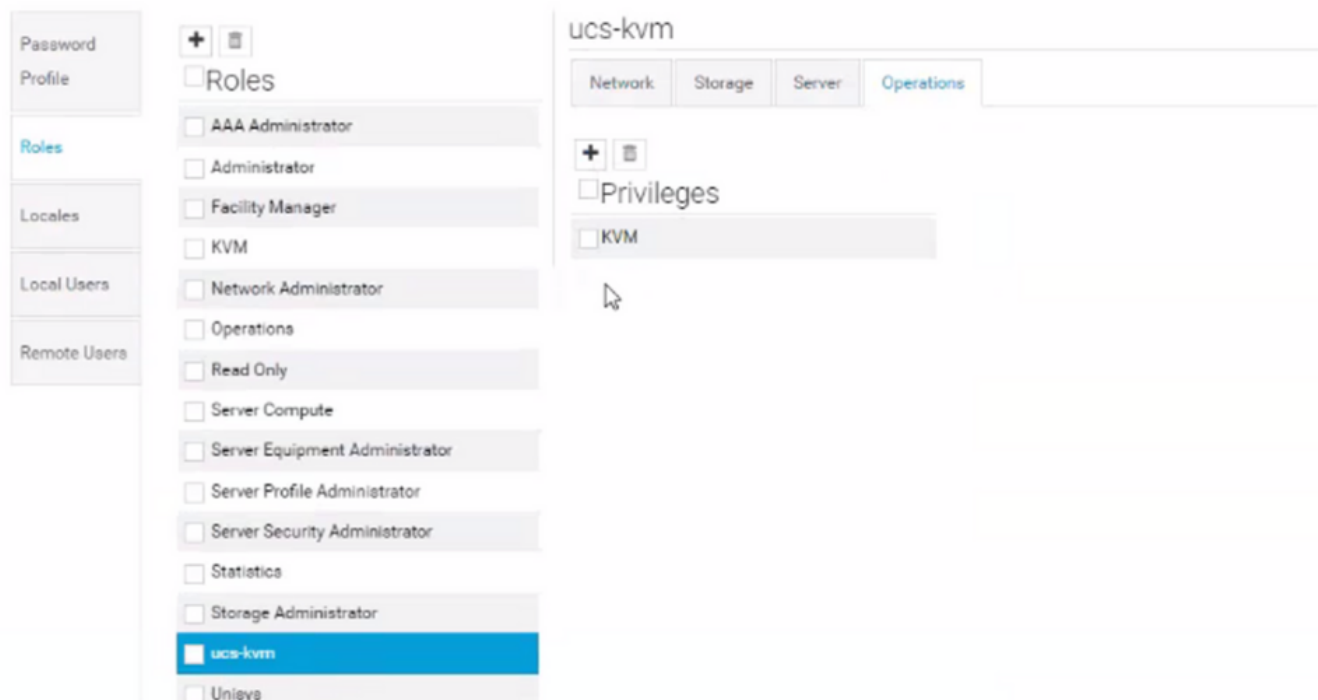
コンフィギュレーション

1. UCS Centralのロール

手順1.1 UCS Centralユーザ管理者ロールの作成

- UCS Centralで、System Configuration Button > User Settingsの順に移動し、Rolesを選択します。
- 「ucs-kvm」という名前の新しいロールを作成します
- 新しく作成したロール「ucs-kvm」のOperationsタブで、KVM権限を追加します。

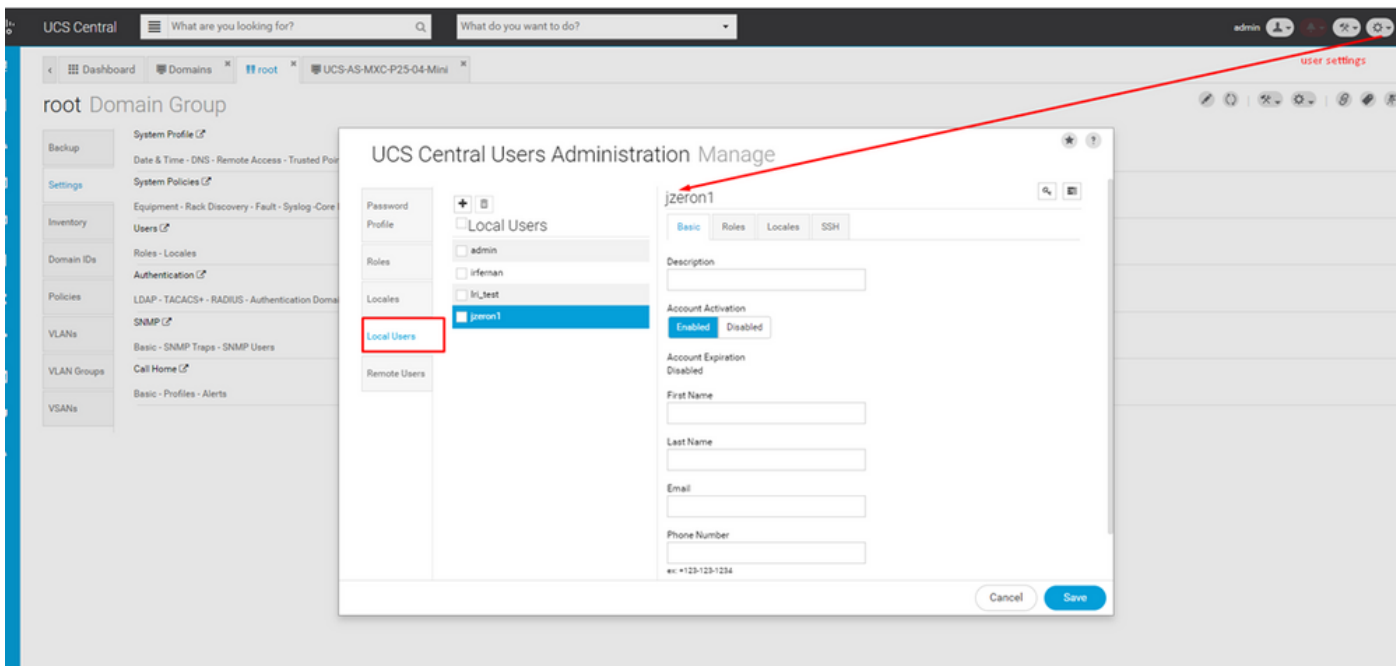
UCS Central Users Administration Manage



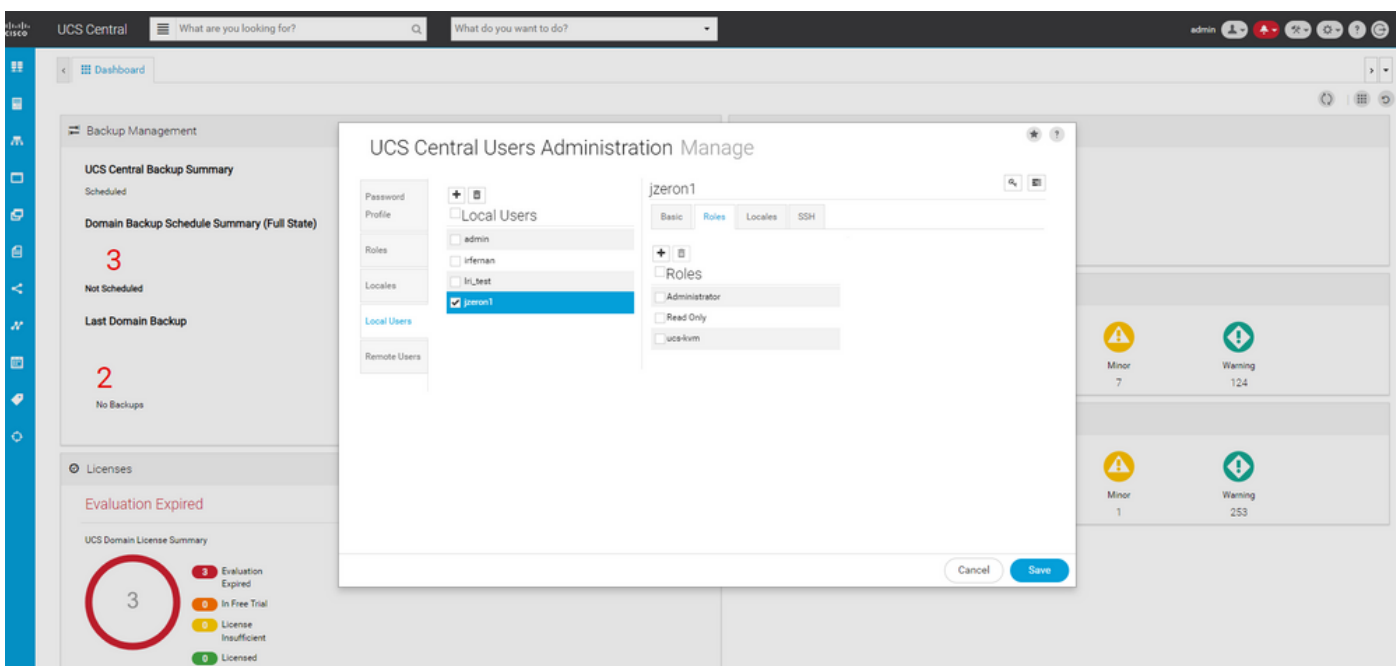
UCS Centralでのロールの設定

手順1.2ローカルユーザの設定

- System Configuration Button > User Settingsの順に移動し、Local Userを選択します。
- 対応するユーザを選択し、[ロール] タブで、選択したユーザの次の3つのロールを追加します。
 1. Administrators
 2. 読み取り専用
 3. ucs-kvm (前のステップで作成したものと同一ロール)



ローカルユーザの設定



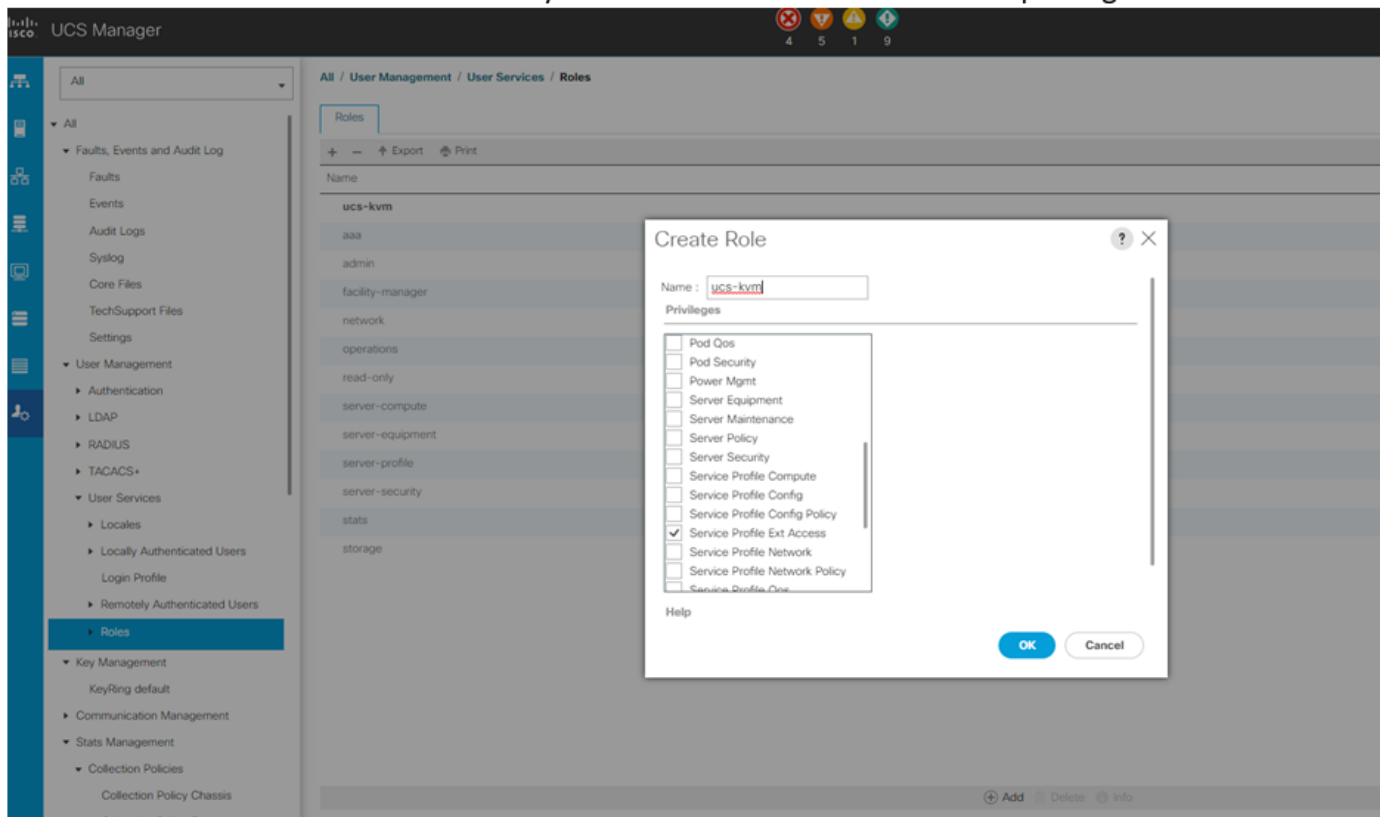
UCS Centralでのローカルユーザのロール割り当て

2. UCSドメインロール

手順2.1 UCSMドメインでロールを作成します。

KVMを介してセントラルからアクセスする必要がある各UCSMドメインで、次の手順を実行します。

- All > User Management > User Services > Rolesに移動し、Addをクリックします。
- ロールucs-kvmを作成し、Service Profile Ext Access権限のみを選択します。



UCS Managerでの新しいロールの作成

3. UCSMドメインへのKVMアクセスの検証

ステップ3.1 UCS CentralからのKVMの起動

- 手順1.2で、ローカルユーザの対応するクレデンシャルを使用してUCS Centralにログインします
- System toolsボタン> Unified KVM Launcherに移動します。
- 手順2.1で説明したように、役割がすでに作成されていて、KVMが機能している必要があるドメインのチェックボックスをオンにします。

Server	Hardware	Configuration	Status
UCS-AS-MXC-P25-02-B 1/1 Un grouped 10.31.123.7	UCSB-B200-M5 20 Cores 64 GB RAM S/No FCH23147F2C	Ph1_Ch2_ESX01 root 4.2(1)B,4.0(4)B FW Ready	OK Domain Status: Lost Viability Fault: Major Power ON Locator LED OFF
UCS-AS-MXC-P25-02-B 1/3 Un grouped 10.31.123.7	UCSB-B200-M4 24 Cores 256 GB RAM S/No FCH191079JE	Ph1_Ch2_ESX02 root 4.0(1a)B,4.2(1)B FW Ready	OK Domain Status: Lost Viability Fault: Major Power ON Locator LED OFF
UCS-AS-MXC-P25-02-B 1/4 Un grouped 10.31.123.7	UCSB-B200-M5 20 Cores 64 GB RAM S/No FCH23147EXZ	Ph1_Ch2_ESX5 root 4.0(4g)B,4.2(1)B,4.0(4)B FW Ready	OK Domain Status: Lost Viability Fault: Major Power ON Locator LED OFF
UCS-AS-MXC-P25-02-B 1/5 Un grouped 10.31.123.7	UCSB-B200-M5 12 Cores 256 GB RAM S/No FLM242700FM	Ph1_Ch2_RS1_W2k16 root 4.2(1)B,4.1(3)B,4.0(4)B FW Ready	OK Domain Status: Lost Viability Fault: Critical Power ON Locator LED OFF
UCS-AS-MXC-P25-02-B 1/6 Un grouped 10.31.123.7	UCSB-B200-M5 12 Cores 256 GB RAM S/No FLM235100K2	Ph1_Ch2_ESX6 root 4.0(1a)B,4.2(1)B,4.0(4)B FW Ready	OK Domain Status: Lost Viability Fault: Cleared Power ON Locator LED OFF
UCS-AS-MXC-P25-04Mini 1/2 root 10.31.123.62	UCSB-B200-M3 8 Cores 8 GB RAM S/No FCH18127CFY	PROFILEFORMTEMPLATESAM1 root 4.1(3)B FW Ready	OK Domain Status: OK Fault: Cleared Power ON Locator LED OFF
UCS-TS-MXC-P25-64108 1/2 root 10.31.123.128	UCSB-B200-M5 32 Cores 1216 GB RAM S/No FCH21337FCX	TestBrdnLab1 root 4.2(2)B,4.2(2)B,4.1(0.6)B FW Ready	OK Domain Status: OK Fault: Major Power ON Locator LED OFF

選択したUCSドメインからのKVMのUCS Centralからの起動

[LDAP Authentication]



注:LDAP認証がローカルユーザ方式の代わりにこの手順を使用する場合。

- System Configuration Button > User Settingsの順に選択し、Authenticationを選択して、ステップ1.2のLDAPセクションと同じ3つのロールを目的のGroup Mapsオプションに割り当てます

UCS Central Authentication Manage

LDAP

Basic Providers Groups Group Maps

Authentication Domains

Provider Group Map DN
CN=ucsbnd,OU=CiscoUCS,DC=msnlab,DC=com

Roles Locales

Roles

KVM

Read Only

ucsa-kvm

Cancel Save

UCS CentralでのLDAPグループのロール割り当て

関連情報

- [UCS Centralのユーザとロール](#)

- [シスコテクニカルサポートおよびダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。